

件名	首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋附帯工工事				
----	-------------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
1	質問書B(見積対象項目に関する質問)	質問書Dのうち見積対象項目の見積条件に関する質問	金抜設計書全般	訂正参考見積書は対応時期の関係から平成7年度積算基準で作成しておりますが、入札は8年度積算基準の適用となっております。7/1公表の8年度積算基準では労務単価の4週8休割増係数の廃止により1.02倍から1.00倍に変更されたため計算上訂正参考見積書の総額が減少すると思います。共通公告記載 見積対象項目の総額最終参考見積書の総額は減少させる必要がありますでしょうか？ご教示願います。	質問書B（見積対象項目に関する質問）の受付期間を超過しての提出であるため、回答いたしません。
2	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	図面番号3 数量総括表 (1)	受注後施工するにあたり 構造物掘削 特殊部A以外の残土（汚染土）はどの範囲か ご教示願います。	残土（汚染土）については、「設計図（高架下整備）土工横断図」に示している砕石範囲の外に設置する集水ますの施工時に発生する残土を想定しております。
3	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	図面番号57～59 用排水工詳細図(1)～(3) 図面番号303～305 用排水工詳細図(1)～(3)	受注後施工するにあたり 用排水溝・用排水管・集水ますの構造物掘削で発生した 残土数量および運搬と処分、埋戻し数量の土配関係をご 教示願います。	残土数量および埋戻し数量については、掘削数量および設置する構造物の体積よりご算出ください。 また、残土について用排水溝・用排水管ははねつけを想定しております。集水ますの残土について、砕石範囲ははねつけを想定しており、砕石範囲の外については、運搬と処分を想定しております。
4	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	図面番号40～53 機能補償道路一般図(1)～(14)	受注後施工するにあたり 機能補償道路の盛土量およびコンクリート舗装の溶接金網と目地の詳細をご教示願います。	機能補償道路の施工にあたり盛土の施工は想定しておりません。 また、コンクリート舗装について、溶接金網の設置は想定しておりません。 目地については、特記仕様書22-7-2「施工」に基づきお考えください。
5	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	22. 工事細部に関する事項 22-2 構造物掘削	調整池②の構造物掘削 特殊部Aブロック⑤における鋼矢板打設の低空範囲において油圧式圧入引抜機での打設または引抜が困難な場合の施工機械変更は変更の対象になる ご教示願います。	現地条件等の相違により、監督員が必要と認めた場合は、設計変更の対象になるものとお考えください。
6	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	22. 工事細部に関する事項 22-16 処分工	構造物掘削での掘削で高含水比の残土が発生し、ダンプで積込が困難でありタンク車に変更した場合は変更の対象になるか ご教示願います。	現地条件等の相違により、監督員が必要と認めた場合は、設計変更の対象になるものとお考えください。
7	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	22. 工事細部に関する事項 22-11 樹脂製擁壁工	受注後施工するにあたり 調整池構造物掘削の中に樹脂製擁壁工の掘削は含まれているか ご教示願います。	特記仕様書22-9-1「定義」に記載の通り、調整池構造物掘削に含まれるものとお考えください。
8	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	特-(4) 流入施設工A～N	受注後施工するにあたり 土工事（掘削・埋戻し・残土等）の数量をご教示願います。	流入施設工に関する土工事の数量については、調整池構造物掘削に含まれております。
9	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	特-(5) 放流施設工A～N	受注後施工するにあたり 放流施設工にある放流函渠工及び連通函渠工の土工事（掘削・埋戻し・残土等）の数量をご教示願います。	放流施設工に関する土工事の数量については、調整池構造物掘削に含まれております。